

報道機関各位

令和6年1月16日
北九州市教育委員会

政令市初開催



北九州市の未来を数学で切り開く!! 「第1回 スー1★GP」開催! (数学グランプリ)

第1回 スー1★GP について

北九州市を支える理工系人材の育成と、それにもなう市の将来的な発展に寄与することを目的とし、市内全中学生を対象とした数学的思考力を競い合う「スー1★GP(スーワングランプリ)」を開催します。ただ問題を解くだけでなく、発想力・思考力・チーム内でのコミュニケーション力など、複合的な能力が求められる試験と、日常生活や将来の仕事のなかに生きる数学について楽しみながら学ぶことのできるブース見学の2部構成となっています。

○コンセプト

入試問題のような出題ではなく、**数学本来の楽しさを実感できる問題**

～3人1組、チームで力を合わせて問題にチャレンジ～

※ 領域：数学OPに準じた4領域 **整数、幾何、組み合わせ、代数**

※ 出題範囲 **中学校3年生の内容**まで

開催日

令和6年1月21日(日) 【午前】スペースLABO ANNEX
【午後】スペースLABO (本館)

対象

北九州市内の中学生のうち、希望者(1～3年生男女、150名程度予定)

タイムスケジュール

受付：8:30～8:50

《午前の部》会場：**スペースLABO ANNEX** (「北九州市立いのちのたび博物館」横)
多目的スペース・交流室

9:00～ 9:10 開会式 / 武内北九州市長挨拶 →**撮影ポイント①：今回の主旨・意義**
(株)steAm 中島代表(※ビデオメッセージ)

9:10～ 9:30 試験についての説明

9:30～11:00 試験 →**撮影ポイント②：試験開始直後**

撮影ポイント③：途中の話し合っている様子

撮影ポイント④：手を動かしながら実技試験に取り組む様子

11:10～11:50 トークイベント/スペースLABO 川村館長

11:50～13:00 昼食・休憩 →**撮影ポイント⑤：生徒へのインタビュー**

移動：スペースLABO ANNEX → スペースLABO 本館

《午後の部》会場：**スペースLABO 本館** (「ジ・アウトレット北九州」内)

13:20～15:30 各種ブース見学・体験 @1階 企画展示室

→**撮影ポイント⑥：ブース出展に参加している生徒の様子**

15:40～16:00 表彰式・講評・閉会式(市長出席) @3階 プラネタリウム

→**撮影ポイント⑦：表彰の様子**

試験問題イメージ

26個あるアルファベットから3文字を並べて、ABAやCCDのように2文字が同じで他の1文字が異なる単語を作ります。これらを辞書順に並べたとき、KKJは何番目になりますか。

【解答例】

最初の文字がAであるもの

75個

よって、最初の文字がJまでは、

$$75 \times 10 = \underline{750 \text{ 個}}$$

最初の文字がKであり、2番目の文字がJまでは、

$$2 \times 10 = \underline{20 \text{ 個}}$$

最初の文字がK、かつ2番目の文字がKの中で、

3番目の文字は 10個

よって、

$$\underline{750 + 20 + 10 = 780} \quad \underline{\text{A. 780番目}}$$

学年：中学2年生（実施時期1月）

単元：場合の数と確率

解き方：順序良く整理して数える

【監修】

株式会社steAm代表取締役社長
下関市立大学 准教授
数学オリンピックJCIMO委員
九州工業大学 工学研究院 教授
西日本工業大学 工学部 准教授
九州工業大学 大学院工学研究院
基礎科学研究系 准教授博士(理学)

中島さち子（全体監修）
近藤 宏樹
峰岸 龍
藤田 敏治
松崎 和孝
若狭 徹

ブース出展企業・団体

学校・企業名	ブース内容	学校・企業名	ブース内容
八幡	①偏光板、ロボット、グラフィート	西工大	⑧工業技術を使った数学教具の体験と展示 ・多面体の模型・立体パズル 等 ・電子ルービックキューブ
東筑 (2ブース)	②数学分野(微分・積分)	九工大 (2ブース)	⑨折り紙立体の組み立て体験等の幾何学系コンテンツ
	③化学分野(実験)		⑩レゴ®シリアスプレイ
九国	④高校数学の内容を、実演を交えながら中学生に分かりやすく解説する企画	北九大	⑪スタッフ不在 パネルの設置
東筑紫	⑤ミニブーメラン製作 静電気実験	GZ キャピタル	⑫キャットVRを使用したバーチャルローラーレース体験
小倉	⑥平面図形の重心を求めて、コマを回してみよう	科学舎	⑬「謎の飛行物体”空中コマ”」
北九州高専	⑦数学の楽しさを体験できる展示 ハノイの塔 学生による高専の紹介・質問対応	(株) レボーン	⑭弊社のおいセンシングデバイス Obreとのおい再現デバイス Hearomの展示、デモを実施予定

本件に関するお問い合わせ先

- 教育委員会 授業づくり支援企画課
TEL：093-582-3447（担当／臼木課長、平山指導主事）
- 公式サイト <https://www.kita9.ed.jp/su1/>